

三重県における今後の性感染症サーベイランスに向けて ～先生のご意見をお聞かせ下さい～

先生方のご協力のおかげをもちまして、平成 19 年 4 月から 3 年間にわたって実施しました「三重県性感染症 4 疾患全数把握調査」が終了し、貴重な情報をいただくことができました。その結果を別添資料 1 のとおり取りまとめましたので、御礼とともにご報告申し上げます。

ご協力いただいた貴重な情報は、三重県における性感染症の予防・まん延防止に真に役立つ次世代のサーベイランスシステム構築に向け、現在の感染症発生動向調査による性感染症サーベイランスの改善に活用したいと考えており、そのためには、先生方のご協力が不可欠です。つきましては、以下のアンケートにより先生方のご意見を承りたく、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

三重県保健環境研究所 所長 大熊和行

◆お考えに最も近い選択肢の番号にひとつだけ○をつけてください。

Q 1 別添の調査結果まとめ（資料 1）に記載したとおり、現在の感染症発生動向調査による性感染症サーベイランスでは、地域の正確な患者発生動向は把握できていません。今後の、性感染症サーベイランスのあり方について、ご意見をお伺いします。

①改善する必要がある ②どちらともいえない ③今のままでよい

Q 2 現在の感染症発生動向調査で使用している調査票の様式（資料 2）は、各疾患毎の性・年齢階級別患者数情報に止まり、例えば「混合感染」の有無も把握できません。この様式を新しい様式（案：資料 3）のように、各患者お一人ごとの様式に変更することについて、ご意見をお伺いします。

①変更するほうがよい ②どちらともいえない ③今のままでよい

Q 3 調査票を新しい報告様式（案：資料 3）のように、各患者お一人ごとの様式に変更することが可能とした場合について、ご意見をお伺いします。

（１）案に追加する方がよいと思われる項目があれば、その理由とともにご記入下さい。

	追加する項目	理 由
1		
2		
3		
4		
5		

(2) 案から削除する方がよいと思われる項目があれば、その理由とともにご記入下さい。

	削除する項目	理 由
1		
2		
3		

Q4 新しい報告様式(案：資料3)のような形式で調査への協力をお願いした場合、協力の可否についてお伺いします。

(1) 協力の頻度

- ①月毎の調査に協力可能 ②年2ヶ月程度(例：9～10月等)であれば協力可能
③協力困難

(2) 協力方法(上記質問で、①又は②とお答えいただいた方にお伺いします。)

- ①E-mailによる情報提供に協力可能 ②ファックスであれば協力可能
③どちらでも協力可能

Q5 今後の性感染症サーベイランスについて、充実の方向性、協力の条件、その他、ご意見があればご記入下さい。

--

◆貴機関の名称、主な診療科、ご連絡先についてご記入下さい。

- 1 医療機関名 ()
2 主な診療科 ()
3 ご担当者名 ()
4 電話番号 () Fax番号 ()
5 E-mail ()

ご回答は、返信用封筒により平成22年11月19日(金曜)までにお願いします。

ご協力ありがとうございました。

<調査に関するお問い合わせ先>

三重県保健環境研究所 疫学研究課

高橋裕明、山内昭則、福田美和

〒512-1211 四日市市桜町3684-11

Tel 059-329-2914 Fax 059-329-8101

E-mail center@kansen.kenkou.pref.mie.jp

感染症発生動向調査(STD定点)

調査期間 平成 年 月 日 ~ 月 日

医療機関名:

疾患名	年齢 性別	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳 以上	合計
性器クラミジア感染症	男																	
	女																	
性器ヘルペスウイルス感染症	男																	
	女																	
尖圭コンジローマ	男																	
	女																	
淋菌感染症	男																	
	女																	

特記事項

(別記様式1)

三重県性感染症患者全数把握調査報告書(案)

資料3

【基本情報等入力欄】

(1)施設種類 コード	(2)所管保健所 コード	(3)医療機関名	(4)主な診療科 コード	(5)報告年月	(6)今月の 新規受診 者数(人)
1: 病院 2: 診療所	2451 : 桑名 2452 : 四日市市 2453 : 鈴鹿 2454 : 津 2456 : 松阪 2457 : 伊勢 2458 : 伊賀 2460 : 尾鷲 2461 : 熊野		1: 産婦人科 2: 泌尿器科 3: 皮膚科 4: 内科 5: その他	(入力例) 2011年1月 ↓ 201101	

【患者情報入力欄】

[illegible]

<STIサーベイランス e-メール報告の手順>

1 患者データ入力用ファイルによる患者リストの作成

エクセル「STI 報告入力ファイル」を”マクロを有効にする”として開く

「患者データ」シートの各項目（黄色セル）にデータをご入力ください。

その際、以下のことにご留意ください。

- ・数字は半角でご入力ください。
- ・項目(5)以降の前月入力データを削除してから、当該月データをご入力ください。

2 メール送信による報告ファイル（CSV ファイル）の作成

1) 「マクロボタン」シートの「報告用 CSV ファイル作成ボタン」をクリックしてください。

2) 作成されるファイルの名前は「STI 報告.csv」とし、ファイル保存先（デスクトップなど）を指定してください。なお、ファイル作成後に修正が見つかった場合、「患者データ」シートを修正し、再度マクロボタンから同ファイル名で CSV ファイルを作成すると、自動上書き保存されます。

3 所管保健所あてメール送信

作成された CSV ファイル「STI 報告.csv」を e-メールに添付し、所管保健所へ送信してください。

4 その他

ご報告いただいた貴機関のデータが必要な場合には、CSV ファイルをメール送信いたしますので、ご連絡ください。なお、CSV ファイルはエクセルで開いてお使いください。

<性器クラミジア感染症、淋菌感染症の検査陽性の所見について>

●性器クラミジア感染症

次の(1)の①～③、(2)の①～②のいずれかに該当する検査所見を認めるもの

(1)検査材料が尿道、性器から採取した材料の場合

- ①分離・同定による病原体の検出
- ②蛍光抗体法又は酵素抗体法による病原体抗原の検出
- ③PCR法による病原体遺伝子の検出

(2)検査材料が血清の場合

- ①ペア血清による抗体陽転又は抗体価の有意の上昇
- ②単一血清で抗体価の高値

●淋菌感染症

尿道、性器から採取した材料、眼分泌物、咽頭拭い液のいずれかを検査材料として、次のいずれかに該当する検査所見を認めるもの

- ①分離・同定又は鏡検による病原体の検出
- ②蛍光抗体法又は酵素抗体法による病原体抗原の検出
- ③PCR法による病原体遺伝子の検出

<パートナー検診について>

性感染症の症例と性的接触をもった過去及び現在の性的パートナーへ曝露リスクを伝え、検査を推奨していただいた場合には「1」をご入力ください。

<HIV 検査について>

保健所で無料で HIV 検査が受けられること、または性感染症が認められる場合で HIV 感染症を疑わせる自他覚症状がある場合は医療機関で保険が適用され HIV 検査が受けられることを説明し、検査を勧奨していただいた場合には「1」、検査を実施していただいた場合には「2」～「4」のいずれかをご入力ください。

<特記事項について>

(12)、(13) のその他の内容、HPV 感染が判明した場合等についてご入力ください。